※令和４年度以降入学生用

学校番号	3022

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	総合実践 （観光コース）	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・総合実践は、2 年生で学んだ内容を活かしながら、現地でビジネスを学ぶ実践型授業です。
・自分自身で問題解決に取り組み、探究していくとともに、実践を通して主体的に学習する姿勢を身に付けよう。
・自分の意見を発表したり、人の話を聞きまとめたり、ビジネスマナーなど実習に積極的に参加して、自ら考えること・表現すること・知識や技術を生かした実践力の重要性を理解しよう。

2　学習の到達目標

＜知識及び技術＞
　企画書の作成や旅行プランの原価計算、学校周辺地域の歴史といった情報取集、実務的な技術の基礎知識を身につけさせる。
＜思考力、判断力、表現力等＞
　フィールドワークや店舗実習などから学び得たものを、スピーチやグループ活動を通して発表・発信する機会を設けることで、適切な自己表現・自己認識ができる力を身に付つけさせる。
＜学びに向かう力、人間性等＞
　観光の知識を生かした内容を体験的に学習し、情報収集・プレゼンテーション能力・ビジネスマナーの向上をめざす。また、豪知的に行う能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	観光の実務に関心を持ち、企画からプランニングを総合的にとらえて計画する意欲と実践的な態度を身に付けようとする。 プレゼンテーションソフト等を活用し、旅行プランの企画書やプレゼン資料を作成することができる。原価計算の知識を活用し、旅行の原価計算をすることができる。	プランニングを行う際にさまざまな課題を発見し、自ら解決するための思考力・判断力・表現力を身に付けている。 さまざまなソフトウェアを利用し、ターゲットに伝わりやすい資料の作成やプロモーションを行うことができる。	プランニングに関する知識や技術を活用し、主体的・協働的に取り組み、課題を解決していこうとする態度を身に付けている。 専門家からのアドバイスを適切に理解し、自らの考えをより広げ、改善に向けて取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	プランの微調整	・ツアープランのブラッシュアップ ・実際のツアー分析 ・プロモーションを考える ・販売促進となるモノの作成及び入稿	a: 外部講師からの指導等で得た知識を理解し、身につけている。また、諸活動を通して資料を収集し、有用な情報を適切に活用している。 b:客観的な視点や自分の考え・意見を表現できている。 c:諸課題に対して、自主的、自律的に行動している。	Googleフォームでワークシート・小テスト・調べ学習の内容	自分の端末を用いてプレゼンテーション・グループワーク、Googleフォームでワークシート・小テスト・調べ学習	グループディスカッション、授業態度、振り返りシート、Googleフォームでのワークシート、調べ学習
２学期	ツアーの販売について	・販売促進の場所や方法 ・ツアーの販売 ・フィードバック	a:販売促進の取り組みや外部講師からの指導等で得た知識を理解し、身に付けている。また、諸活動を通して資料を収集し、有用な情報を適切に活用している。 b:自分の考えや意見を表現できている。 c:ビジネスマナーを守り、自主的、自律的に行動している。			
３学期	２年間で学んだこと	・ツアープランニングを終えての発表 ・見えないものを売ることで得たものについて	a:2年間の集大成として、得た知識を理解し、身に付けていることを活用している。 b:客観的な視点や自分の考え・意見を表現できている。 c:諸課題に対して、自主的、自律的に行動している。			

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度